

牧川っ子

～どの子ども大切に どの人も大切に 自分も大切に～

牧川小HP
QRコード

みんなの力で成功した運動会

校長 内田彦次

10月19日(土)、にこやかに「おはようございます。」とあいさつをして校門をくぐる姿が多く見られ、登校後の教室には、いつもにも増して元気いっぱいの子どもの声が響きました。

大人たちが天気の心配をするのをよそに、やる気いっぱいの子どもの整列で運動会が始まりました。学校運営協議会・PTA・親子の会、少年野球の保護者のみなさんが環境整備をしてくださったお陰です。心より感謝申し上げます。

また、日頃より子どもたちの健全育成にお力添えをいただいています区長様をはじめ、学校に係するみなさまに子どもたちが奮闘する姿をご参観いただきました。誠に有り難うございました。

子どもたちが精一杯に力を尽くす姿はかわいらしく、そして素晴らしいと感じました。また、自分の役割を一生懸命に果たし、やり抜く姿を見て感動しました。

<子どもたちの勇姿>



【行事で育つ子ども、授業で育つ子ども】

コロナ禍の折には、制約のある環境を受け止め、運動会を実施しました。生じた制約から、子どもの学びや成長にとって必要な運動会の要素を洗い出し、ある方がいいかも知れないけれど、なくてもよいものはそぎ落とす考えで運動会を見直しました。

学校教育活動には、すべて目的があります。整列するときには、基準を見て列をそろえようという意識を育みます。競遊では競い合って上達する喜びや勝敗の喜び・悔しさを味わわせたり、楽しく運動するなかで体力を向上させたりするなど、一つ一つの活動に子どもを育てるねらいと願いをもっています。今回の運動会で競い合うチャンスや役割を果たす機会を通して、子どもたちが大きく成長した姿を見られてうれしく思いました。

変動性や不確実性を多く抱える時代にあって、将来、大人として生きる子どもたちに、どんな資質が肝心なことかを考え、学校行事を通して育てたいと考えています。そして、当然のことですが、日々の授業で大切な資質を育て、子どもたちが大きく成長する学び舎でありたいです。

【気になっていること】

時代の変化に伴って、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。子どもたちの時間の使い方において、ゲームと動画視聴に多くの時間を費やしているのが全国的な傾向のようです。牧川っ子においては、それらに費やす時間が、全国平均よりもかなり多い学年があるというデータがあります。「どのように自分の時間を過ごすのがよいのか」、現代の子どもたちや大人に静かに突きつけられている問いではないでしょうか。